

2月定例教育委員会 議事録要旨

日時：令和4年2月18日 13：30開会

場所：中津市役所4階研修室

出席者：栗田教育長、自覚委員、本田委員、中山委員

黒永教育次長、奥久教育総務課長、岩久学校教育課長、岩丸社会教育課長、
末吉体育・給食課長、山本生涯学習推進室長、高崎歴史博物館長、
友野学校教育課主幹

○2月教育委員会報告

栗田教育長から、2月時における教育委員会事務局の動き等報告。

○令和3年度3月補正予算（第13号）について

奥久教育総務課長から、補正予算の内容について説明。

- ・豊陽中学校大規模改造事業は具体的にはどのような改修なのか。

→中津市では平成26年度までに学校施設の耐震化を終わらして、その後、引続き学校施設の大規模改造を行っております。内部で言えば、教室の表面材の張替えやトイレの便器の洋式化、床の乾式化、蛍光灯のLED化など、家で言えばリフォームするような工事を実施します。

その他意見等はなく、賛成多数で承認した。

○令和4年度当初予算について

各課長、館長から、当初予算の内容について説明。

- ・南部小学校長寿命化は具体的には何をするのか。

→南部小学校の校舎は東西2棟ありますが、それぞれ40年以上経過しており、内部的にもかなり老朽化をしている状況です。長く使っていくために、こちらも豊陽中のようにリニューアルのような長寿命化改良工事を行います。大規模改造は経年劣化による損傷や内部の故障、内外の外壁や設備の改修、更新をするための工事になります。長寿命化改良は老朽化が進み、どこか悪くなる前に予防的に改修をしていって長く使っていくといった目的となります。また、北部小学校については、今後児童数の増加で教室不足が見込まれるため、多目的室や昇降口の整備も含めて、今回増築の事業を計画しています。

- ・八面山文化推進事業の具体的な内容は。

→八面山スケッチ大会のことになります。八面山で、一般から募集をした方にその日のうちにその作品を出していただいて、賞をつけ、後日、文化会館などで展示をするというような、ふるさと学習の一環で進めている事業になります。

- ・スクールサポートスタッフが4名から22名になっているが、この仕事はコロナ関連になるのか。

→スクールサポートスタッフの22名の基本的な業務としましては、学校の消毒業務と、また、学校の働き方改革に資するような働き方をするスタッフということで配置しております。

【裏面につづく】

- ・ヘルプデスクの廃止とあるが、ヘルプデスクとは。
→こちらは学校教育課に併設していたものですが、学校に導入したパソコン等の補修や様々な保守関係の業務をヘルプデスクという形で、外部から人を配置しておりました。そのヘルプデスクを廃止して、サポートする職員をG I G Aスクールサポーターという形で直接雇用にしたものです。
 - ・学校指導専門員、学習補助員、教育補助員、学習指導員などはどう違うのか。
→まず学校指導専門員は、今2人配置しております。ふれあいや学校教育課に入ってもらい、各種業務のサポートをしていただいています。不登校防止指導員は、適応指導教室のふれあいに勤務をしていただいております。学習補助員は、2種類ありまして、単独で授業をされる方、また非単独で授業をされる方という形で、各学校のほうに必要に応じて配置しております。複式解消のため配置したり、習熟指導に充てているところもあります。教育補助員は、特別支援の観点から子どもたちの支援に当たるといことで、学校に配置されております。日本語指導員は、外国にルーツを持つお子さんたちが日本語を覚えるまでの指導の手助けをするという形で、学校に行って指導を行っております。部活指導員は、働き方改革の一環もありまして、中学校の部活動で希望のあったところに配置しております。学習指導員は、教員免許を必要とせず、コロナ対策に併せて学習の遅れをサポートするために、昨年度から学校のほうに配置されております。
- その他意見等はなく、賛成多数で承認した。

○中津市教育委員会招致外国青年任用規則の一部改正について

岩久学校教育課長から、中津市教育委員会招致外国青年任用規則の一部改正について説明。

- ・津民小学校や三郷小学校の名前がないが、入っていないという事か。
→基本的に学校に英語の指導に入っているのは、ALTという立場の方とNETという立場の方が入っておりまして、2種類の雇用形態の方がいらっしゃいます。学校によってはどちらかという形ですので、今回のALTはこのような勤務となっております。
- その他意見等はなく、賛成多数で承認した。

○その他

高崎歴史博物館長から薦神社神門の修理と随神像の展示と企画展「石碑がふるさとに里帰り～『湯屋の辻道標』の復元～」について説明。